

飛驒特別支援学校

～聴覚障がいのあるお子さんへのサポート～

聞こえにくさから生じる困難に気付いてもらえず、自分でもどうしたらよいか分からず、困っている子がいます。でも、周りが理解して支援すれば、安心して学校（園）生活が送れるようになるかもしれません。

補聴器や人工内耳を着けている子、補聴器や人工内耳は使っていないけれど軽い聴覚障がいのある子、片耳が聞こえにくい子がいたら、気に掛けてください。そして、心配な姿が見られたら、ぜひ御相談ください。



聞き返しや聞き間違いが多い



前から話し掛けると分かるのに
後ろからの呼び掛けに気付かない



周りの様子を見ながら
行動している

「補聴器を着けていれば聞こえる人と同じように聞こえる」「周りと同じように行動しているから聞こえている」と思われがちですが、補聴器は聞きたい声だけでなく周りの音も一緒に大きくなるので、言葉がはっきり聞き取れているとは限りません。

人工内耳装用や中軽度の聴覚障がいのお子さんは、発音が明瞭であることが多く、周りの人は本人の話していることを聞き取ることができますが、本人の聞き間違いや聞き漏らしがなくなることはありません。

状況によって聞き取れたり聞き取れなかったりするため、生活や学習のさまざまな場面で困っています。

飛驒特別支援学校では

聞こえにくいお子さんへの教育的支援を行っています。

- ①きこえやことばに関する相談支援
- ②幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校等への訪問支援
 - ・授業（保育）参観及び懇談
 - ・クラスの友達等への理解啓発授業
 - ・先生方への研修会
- ③きこえとことばに関する学習会
- ④乳幼児教室
 - ・就学前の乳幼児と保護者の教室（0歳児～5歳児）

「きこえ」や「ことば」に関する相談やお問い合わせは、
飛驒特別支援学校 地域支援センター（聴覚障がい支援専任教員・特別支援教育コーディネーター）

TEL：0577-34-7122 ※お気軽に御連絡ください。お電話お待ちしております。

FAX：0577-34-6813 MAIL:c27375@gifu-net.ed.jp 〒506-0058 高山市山田町 831-44

